

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：商工費 項：商工費 目：工鉱業振興費

事業名 成長産業・モノづくり若手人材育成（航空宇宙）事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 航空宇宙産業課 産業振興係 電話番号：058-272-1111 (内3763)

E-mail：c11354@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 2,320 千円 (前年度予算額：1,895 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	1,895	900	0	0	0	0	0	0	995
要求額	2,320	1,100	0	0	0	0	0	0	1,220
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

本県は「モノづくり立県」として高い技術力を有する中小企業が集積する一方で、高校生をはじめ若手人材が近隣県へ流出し、新たな担い手の確保が充分でない状況に直面している。将来の県経済を牽引する基幹産業として期待される航空宇宙産業など成長産業分野の人材の確保・育成は、産業の競争力を高める上で喫緊の課題である。

特に航空宇宙産業はコロナ禍の影響から回復しつつあり、再び市場の大きな成長が期待される。一方で、当該産業を担う人材の不足が懸念されるとともに、さらなる国際競争力の激化が想定されることもあり、より優れた産業人材の育成・確保が必要である。

(2) 事業内容

県内の教育機関や航空宇宙関連企業と連携し、県内高校生に航空宇宙産業の最新の動向を紹介するとともに、航空宇宙関連企業の見学の機会を提供し、航空宇宙産業に対する理解の促進と就職意欲の喚起を図る。特に、コロナ禍の影響により航空機業界がイメージダウンしており、今後人材不足が懸念されるため、航空業界の魅力向上が必要である。

○航空宇宙産業セミナー／企業見学

【対象者】 県内高校生

【内 容】 航空宇宙産業セミナーの開催
県内航空宇宙関連企業の見学

【回 数】 20回 (R5：15回)

(3) 県負担・補助率の考え方

特に高い技術力・品質保証能力を求められる航空宇宙産業では優れた人材が必要であり、その現場を学ぶ重要な機会を提供する。

(4) 類似事業の有無

なし

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	120	業務旅費
委託料	2,200	バス運行委託、セミナー委託
合計	2,320	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・「清流の国ぎふ」創生総合戦略
3 地域にあふれる魅力と活力づくり
- (2) 次世代を見据えた産業の振興
 - ① 産業を支える人材の育成・確保
- ・岐阜県経済・雇用再生戦略
3 人材確保・雇用対策プロジェクト
次世代産業の創出やDXの推進等を担う人材の育成・確保
- (1) 成長産業等における人材育成・確保

(2) 後年度の財政負担

県内高校生を対象とした人材育成を持続的に支援することが必要。

(3) 事業主体及びその妥当性

県内高校生を対象に、県内航空宇宙産業への就職意欲を向上する事業であり、県が主体となることは妥当。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

県内高校生をはじめとした将来の成長産業・モノづくり産業を担う若手人材に対し、県内航空宇宙関連企業への就職意欲を喚起させ、就業者の増加を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R3)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R7)	達成率
①航空宇宙関連企業内定者数 (工業高校生) 【単年】	32	28	62	76	90	31%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和3年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和4年度	航空宇宙産業セミナーでは、航空宇宙産業の概要説明や小型実機の見学を行った。また、企業見学では航空機部品の製造現場を見学することで、航空宇宙業界への就職意欲向上につなげた。 指標① 目標：49 実績：28 達成率：57 %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>▪ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) <small>3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</small></p>	
(評価) 3	<p>航空機や次世代自動車等の成長産業分野は、今後の県経済を牽引する重要な産業であるが、人材の確保ができていない状況である。そのため、次代を担う若手人材、特に、即戦力となる県内高校生の人材確保が喫緊の課題である。よって、県が主体となり取り組む必要がある。</p>
<p>▪ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) <small>3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価) 3	<p>事業終了後のアンケート結果では、「航空宇宙産業に興味をもった」、「進路の候補先としたい」等、前向きな意見を示しており、航空宇宙産業への就職意欲の喚起の観点で一定の効果が得られている。</p>
<p>▪ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) <small>2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</small></p>	
(評価) 2	<p>本事業は、県内高校生を対象に、県内の航空専門学校の協力により、完成機体やエンジンに直接接触しながら、航空機の基礎的な知識を学ぶ機会を提供すること、また、県内航空宇宙関連企業等の協力により、製造現場を見学する機会を提供することで、効率的かつ効果的な内容となっている。</p>

(今後の課題)

<p>▪ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 航空宇宙関連企業の業績がコロナ禍の影響から回復しつつある中、人手不足が懸念されるため、県内高校生に効果的かつ効率的に、航空宇宙産業の魅力を伝え、認知度を向上させることで、県内航空宇宙関連企業への就業者の増加を図る必要がある。</p>
--

(次年度の方向性)

<p>▪ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 航空宇宙関連企業の人材確保のためには、より多くの県内高校生に航空機製造の興味や関心を得ることが必要であり、本事業を持続的に実施（回数増）することで、県内の航空宇宙関連企業の魅力及び、認知度向上に繋がる。</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせる理由 や期待する効果 など	